

ひかり 新聞

第127号
2021/1

介護老人保健施設
ケアステーションひかり
北海道広尾郡大樹町
字大樹10番地8
TEL 01558-6-5566
FAX 01558-6-5567
<http://koujyukai.info/>
E-mail: info-hikari@koujyukai.org



理事長より 新年のご挨拶

『Never surrender, Never, Never, Never.
~決して屈するな。決して、決して、決して~』

2020年、中国武漢に端を発するCovid-19によるpandemic disasterの勢いは収まらず、死神のように世界中の至る所で人々を苦しめています。

昨年末、遂に十勝管内の医療機関・介護施設・保育園でクラスター感染が発生しました。しかも、その後の新規発生者数がゼロにはなっていません。

このように、「pandemic disaster (感染症災害)」は、急速に拡がり、長期間持続するの
が特徴です。1年以上続き、世界規模に感染が拡大した例は、1918年に大流行し5000万人以
上の死者を出した「スペイン風邪」です。資料によると、日本で約2300万人の患者と約38万人の死亡者
が出たとされています。

新型コロナウイルスは、人々の会話や握手、抱擁を介して、人から人へと接触飛沫感染します。忍者
のように実に巧妙な目に見えない生き物です。いまや、親や子供が入院しても付き添う事すら許されな
い。人間の絆を断ち切る、まことにたちの悪いウイルスです。Covid-19に限らず、新規感染症の病原体
は、ひとたび町や村に侵入すれば、人々の命を焼き尽くすまで、街が灰燼となるまで暴れまわります。

この死神のようなCovid-19の感染症と、日々、神経をすり減らしながら懸命に看護・介護をされてい
る皆様のご尽力に、あらためて、ここから感謝するとともに、今なお、クラスター発生下にある病院
と施設が1日も早く解放され、利用者様と同業の職員の方々が安堵されることを強く望んでいます。

コミュニケーションは私達にとって生命線です。進化論からすると、絶滅したネアンデルタール人と
その後、繁栄した我々ホモサピエンスとの違いは、言語／絵画／音楽などのコミュニケーションの差で
あったと言われています。コミュニケーションが途絶えると人類も滅亡しかねません。

接触飛沫感染のCovid-19は「communication」を生命線とする私たちへの宣戦布告といっても過言で
はありません。この危機を乗り越える王道は一人一人が感染予防のために手洗い・マスク・消毒・検温
の日常活動を積み上げる事です。これを「凡事徹底」といいます。この各人の地道な作業の繰り返しの
先に生き残る道が拓けてきます。勝利を諦めない事 歴史は教えてくれました。

そうです、「冬は必ず春」となります。

※冒頭の言葉は、イギリスの宰相、ウィンストン チャーチルが、
ナチス・ヒットラーのヨーロッパ侵略に対して、首相の決意をイギ
リス国民に語った有名な言葉です。



令和3年1月
社会福祉法人光寿会 理事長 森 光弘

【ご案内】



2020年はコロナウイルス感染予防の為、毎年行っ
ていた「学習療法地域交流会」が実施出来ませんでした。
その為、光寿会ホームページには、2021年
学習療法地域交流会へ向けての予告や学習療法
の紹介動画が、更新されています。
ぜひご覧ください！



<http://koujyukai.info/>

~ ひかり新年会 ~

日程：1月19日・20日
時間：10:00より

☆今年は各階で別の日程で行い職員の出し物を中心
に催しを予定しています。利用者様に楽しんで頂け
るよう準備を進めています！



おせち料理



ひかりでは元旦に、おせち料理を提供しました。皆様と一緒に新年を迎えることができました。

【御品書】

- ・赤飯
- ・おせち盛り合わせ
- ・煮物
- ・ゆずの香りやえ



通リハ改装

す作ハ用がをこ理 企ハン ま新やンシ
 リビ者りしれ？和画ビをアしし収ドヨ通
 をり様まよかイ食しり活イたく納キン所
 行ががすうらタ？てや用ラ！生棚ッでり
 って楽！かどリフイ調しン ま・チはハ
 てきし今とんアラき理たド れデン、ビ
 いるん後夢な料ンまレ調キ 変スのアリ
 き環でもが料理スすク理ッ わク設イテ
 ま境り利広理？料。をりチ りが置ラー

通所リハビリ☆活動報告☆



皆さんは子供の頃、駄菓子屋さんに通った記憶はありますか？少しでも子供の頃を思い出して頂く為、1日限定ですが駄菓子屋さんを開設しました。「これ食べてみたい」「ねり飴が欲しい」などが聞こえてきました。駄菓子に馴染みのある方も、そうじゃない方もこの日は童心に戻り、駄菓子屋さんを楽しんでもらえました。引換券も用意し、真剣に駄菓子を選んでいたいただきました。

駄菓子屋



令和2年はコロナ禍で大変な年となりましたが、何事もなく過ごせたのは、利用者様、家族様のご協力があったからです。そんな感謝を込めて、クリスマス&忘年会を開催しました。プレゼント釣りやミニゲーム、ビンゴ大会に職員によるマジックショー、盛り沢山の内容となりました。少しづつ企画をして、楽しむ所元気がなっけりな目標としていきます。

感謝祭



ご寄付ありがとうございました

広尾町 匿名様 みかん2箱
 大樹町 杉森 俊行様 りんご・海苔2箱

【現金のご寄付】

大樹町 岩間 アキ子様
 えりも町 匿名様



寄付金を利用させていただきます、ヘルパスステーションで使用する「エプロン」を購入いたしました。大切にしております。

だるま作り

リハビリの一環でお正月らしい『だるま』を作りました。膨らませた風船に新聞紙を貼り、形作りから行いました。だるまの形になったものには

絵の具で色付けをして、最後に顔を貼り付けて出来上がり！表情には作った利用者様の個性が出ています。乾かす作業が必要であり、出来上がるまでに時間は掛かりましたが、その分愛着が湧き、とても可愛らしい『だるま』となりました。

